

みずほCustomer Desk Report 2024/08/19 号(As of 2024/08/16)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	149.13
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.24	1.0974	163.73	1.2859	0.6612
SYD-NY High	149.32	1.1030	163.78	1.2945	0.6671
SYD-NY Low	147.58	1.0971	162.32	1.2855	0.6608
NY 5:00 PM	147.60	1.1028	162.80	1.2942	0.6671
				終値	(前日比)
NY DOW	40,659.76	96.70	日本2年債	0.3500%	0.0300%
NASDAQ	17,631.72	37.22	日本10年債	0.8700%	0.0400%
S&P	5,554.25	11.03	米国2年債	4.0518%	▲0.0506%
日経平均	38,062.67	1,336.03	米国5年債	3.7562%	▲0.0394%
TOPIX	2,678.60	77.85	米国10年債	3.8817%	▲0.0362%
シカゴ日経先物	37,695.00	35.00	独10年債	2.2570%	▲0.0040%
ロンドンFT	8,311.41	▲ 35.94	英10年債	3.9260%	0.0055%
DAX	18,322.40	139.16	豪10年債	3.9250%	0.0290%
ハンセン指数	17,430.16	321.02	USDJPY 1M Vol	10.61%	0.10%
上海総合	2,879.43	2.07	USDJPY 3M Vol	10.79%	0.01%
NY金	2,537.80	45.40	USDJPY 6M Vol	10.06%	0.13%
WTI	75.54	▲ 1.45	USDJPY 1M 25RR	▲2.05%	Yen Call Over
CRB指数	275.44	▲ 1.90	EURJPY 3M Vol	9.78%	▲0.11%
ドルインデックス	102.46	▲ 0.51	EURJPY 6M Vol	9.47%	0.01%

東京	東京時間のドル円は149.24レベルで開始した。昨日の堅調な米指標を受け日経平均は堅調に推移した一方で、米金利がじりじり低下する中でドル円は軟調気味な値動きとなった。結局148.95レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.95レベルでオープン。週末を前に調整か、米10年債利回りの下落やクロス円の下落伴って147.96まで売られ、結局148.05レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間では、ヘッジファンドの長期債の買いが持ち込まれているとの話等から、米金利が低下する動きにドル円は上値を抑えられ、148.05レベルでNYオープン。朝方は住宅着工件数が予想を下回り、前回分も下方修正されたことから147.61まで下落。続いて発表のミシガン大学消費者信頼感指数が予想を上回り、1年後、5～10年後のインフレ期待も予想を上回ったことから148.26まで戻す。午後は、ミシガン大学消費者信頼感指数結果を受け、一旦上昇に転じた米金利が週末の調整か再び低下する展開にドル円は上値を抑えられ、147.58まで下落し、147.60レベルでクロスした。一方海外市場のユーロドルは、米金利低下を受けたドル売りに、じり高で推移し1.0993レベルでNYオープン。朝方は1.1004まで戻すものの、ミシガン大学消費者信頼感指数結果を受けたドル買いに、1.0983まで反落する。午後は、一旦上昇した米金利が低下に転じる動きにユーロドルは下値をサポートされ、1.1030まで戻し、1.1028レベルでクロスした。

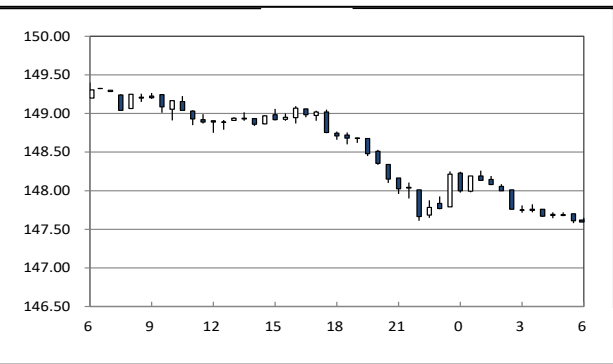
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月16日	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	7月 0.7%/1.4%	0.6%/1.4%
	21:30	米 住宅着工件数	7月 1238k	1333k
	21:30	米 建設許可件数	7月 1396k	1425k
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	8月 67.8	66.9

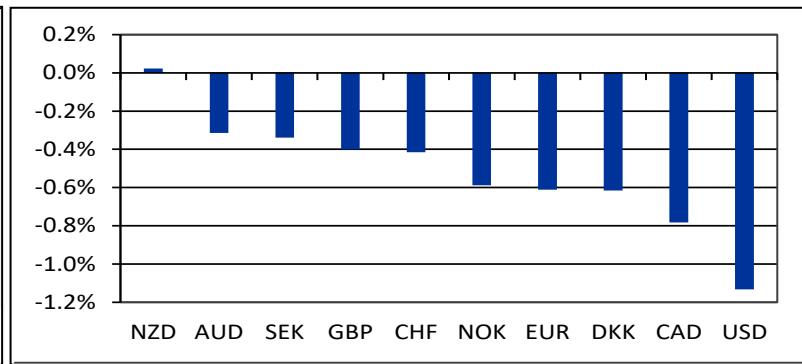
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月19日	23:00	米 先行指数(前月比)	7月 -0.4%	-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.20-149.00	1.0950-1.1100	162.00-164.00

【マーケット・インプレッション】

先週米商品先物取引委員会が先週末発表した13日終了週の建玉報告によれば、投機筋のポジションが円の売り越しから買い越しに転じた。7月初旬以降円ショートポジションは減少し、日銀によが利上げを継続するとの観測から急速にポジション調整が入り、先週2021年以降初めて買い越しに転じた。米国の重要指標の発表が先週でひと段落し、市場の注目は今週22-24日に開催されるジャクソン・ホール・シンポジウムに移っている。パウエルFRB議長が9月会合での利下げ開始を示唆するか、さらに利下げを実施する場合は利下げ幅についてコメントがあるか注目されている。一方で、パウエル議長が米経済の底堅さをアピールする発言をすると円キャリー取引も復活しドル円は底堅い推移となると予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。